

## 第28回私が見つけた「埼玉の自然」フォトコンテスト応募締切は11月15日！！

多くの県民に親しまれている「埼玉の自然」フォトコンテストを今年も実施いたします。応募締切は11月15日(金)です。(送り先：朝日新聞さいたま総局) 12月2日に審査を行い、最優秀賞1点、優秀賞2点、特選3点、準特選20点、奨励賞20点、入選100点を決定し(発表は朝日新聞紙上)、2014年2月13日(木)～18日(火)まで入賞・入選作品展を開催(さいたま市プラザノース)します。今回も副賞として協賛会社のエプソン販売株式会社、株式会社ニコンイメージングジャパン、サンデスク、三菱電機の各社から賞品が贈られます。

このコンテストは、埼玉県内外の会員及び一般の方、また高校生も応募できます。多数の応募をお待ちしております。

### 林 喜一総本部理事が写真集の発刊と写真展を開催

既に数多く海外での写真を発表されている林総本部理事が新たに「癒しの国ミャンマー」と題し、写真集を9月3日に発刊されました。さらに同名の写真展を11月8日(金)～11月21日(木)の期間にて「エプソンイメージングギャラリーエプサイト」で開催されます。ヒューマンな視線の数々の写真から、きっと私たちの気持ちを癒してくれることでしょう。是非、足をお運びください。(日曜日は休館 10:30～18:00 最終日は15:00 入場無料)

### 佐藤副委員長が引き続きフォトアサヒに「ストロポ」を連載

今年4月より「フォトアサヒ」誌上に好評連載中の初級講座が三脚・フィルターと続き、8月号よりストロポの活用について掲載されています。簡単なようで以外に難しく、奥深いストロポの使用作品を、今回の記載内容を参考にチャレンジしてみたいかがですか？きっと表現の幅が広がることと思います。

### 夏の県本部例会が活発に開催される

7月20日、夏の県例会が74名の参加により、大変活発に開催されました。単写真は87点と組写真の41点を、それぞれ互選を行い、上位10点の選出された作品を基に講師より細かい講評がありました。さらに今回も講師の先生方の作品もご掲示頂き大変勉強になりました。今後も県例会をより活力ある有意義なものとなるよう、皆さんからのご提案をお待ちしております。(秋の県例会は10月26日(土)冬は2月23日(日)に変更です)

### デジタル写真の初心者向け教室開催

今年度の写真教室は、新たな会員増員を目指し、会員以外の方々を対象に、7月27日(土)～28日(日)の2日間、県民活動総合センターにて行われました。27日の午前には大野副委員長による画像処理の基本を、午後は小林委員による画像処理の実際をそれぞれ講義し、28日は参加者の画像データを実際にプリントする内容でしたが、今回もエプソンの多大なご協力により、A3に印刷、最後は林理事と増田顧問より講評をいただくという高密度の写真教室となりました。今後の会員増員に期待します。

### 第6回全日本まつりフォトコンテスト(締切り12月16日(金))

首都圏ブロック主催の上記コンテストが開催されます。審査員は写真家の齋藤康一氏です。毎回、県内より多くの応募と受賞者を輩出していますので、今回もさらに多くのご応募と受賞されることを期待しております。(写真展は来年3月27日(木)～4月2日(火)予定)

### 第30回記念「埼玉県写真サロン」盛大に開催される

第30回となる「埼玉県写真サロン」は記念展であることから、記念賞3賞を増やし、写真家の熊切圭介氏、関東本部副委員長の工藤武夫氏、ニコンの梶山博明氏3名による審査が7月30日に行われ、53点の受賞が決まりました。搬入数が485点と前年より47点増加により厳しい審査となりました。

写真展は8月6日(火)～11日(日)に県立近代美術館で開催、表彰式は10日(土)に、林総本部理事、高山関東本部事務局長、審査員3先生のご臨席を頂き、後の懇親会も含め、大盛況のうちに閉幕いたしました。

今回も搬入・受付・審査・展示・当番・搬出と本事業運営に多くの委員、支部の方々にご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。

### 入賞者

【埼玉県知事賞】(ニコン賞)	菊池 博子
【全日写連関東本部長賞】	松澤江津子
【朝日新聞さいたま総局長賞】	内山 和也
【全日写連埼玉県本部長賞】	斉藤 啓助
【全日写連埼玉県本部委員長賞】	田沼 清昭
【さいたま市長賞】	保科 幸浩
【埼玉県議会議長賞】	前田 稔
【埼玉県教育長賞】	森下 裕
【さいたま市議会議長賞】	渋江ふみ子
【さいたま市教育長賞】	近藤扇次郎
【第30回記念賞】	三浦喜代子
【第30回記念賞】	土屋 弘美
【第30回記念賞】	萩原 幸作